



事業計画

2020年度

社会福祉法人希耀會

目 次

理事長挨拶	3
私たちの理念	4
法人機構図	5

特別養護老人ホーム花乃路

会議・委員会活動	6
年間業務予定	7
年間業務目標（部門別）	8
年間業務目標（ユニット別）	9

特別養護老人ホームあやめ苑

委員会活動	10
年間業務予定	11
年間業務目標（部門別）	12
年間業務目標（ユニット別）	13

ベイサイドわかまつ

委員会活動	14
年間業務予定	15
年間業務目標（部門別）	16
年間業務目標（事業所別）	17

花乃路保育園

中・長期計画	18
基本方針・保育目標・課題	19
令和2年度にむけて行動指針と具体的内容	21
年間業務予定	22



理事長挨拶



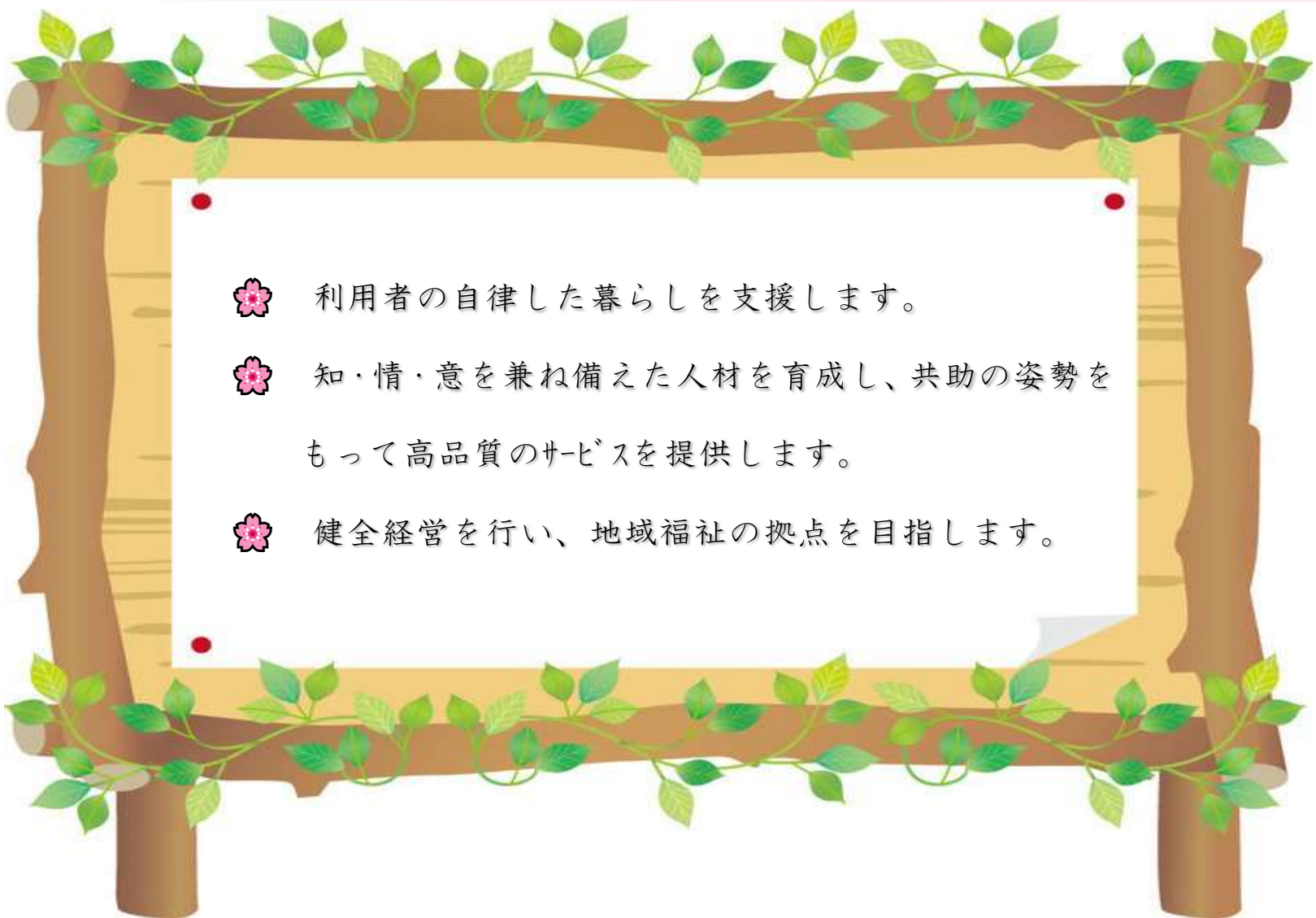
近年、地域社会での孤立、孤独死や自殺、ごみ屋敷など自らの内に籠もる事例や、相模原障害者施設殺傷事件のような、弱い人々への殺人や虐待などの社会的事件を引き起こす事例が頻発するようになりました。不安定化する日本の社会において、人々の誰もが生活困難に陥る可能性があり、それを解決するためには行政や福祉事業者だけに頼ってられない社会の現実をどう変革していくのか、大きな社会福祉の課題となっていると感じています。

今年度は介護保険制度が施行され 20 年の節目の年となります。20 年に渡る取り組みでいくつかの課題として、国が推進する地域包括ケアの考え方にあるような多様な社会的課題に対応するための制度の狭間を越えた支援の連携。第 2 に、近隣住民の日常的なかかわり、いわゆる「互助の精神」が課題解決に大きな力となります。自分がどんな状態になっても、近隣住民が関係を切ることなく、かかわりを続けていく、お互いに助け合いができる地域社会をつくることが求められています。福祉施設や、専門職を抱える社会福祉法人は、そのような活動の輪を広げるために存在していると言っても過言ではありません。地域住民の方が集う場の提供、地域の課題を共に考えていく上での助言、制度の活用やその仕組みへ繋げる支援など大きな役割を果たせると思っています。

地域の方々が安心して暮らす事ができるような取り組む活動が必要であり、それこそが今必要とされている「まちづくり」ではないでしょうか。当法人の存在意義を振り返り、地域生活、活動の拠点として、福祉施設も地域住民の方々と、互いを支える地域福祉の活動を活性化することこそが、人々のつながりが失われ孤立化していく日本社会の危機を救い、社会の基盤をつくるかけがえのない取り組みになるのではないかと思います。

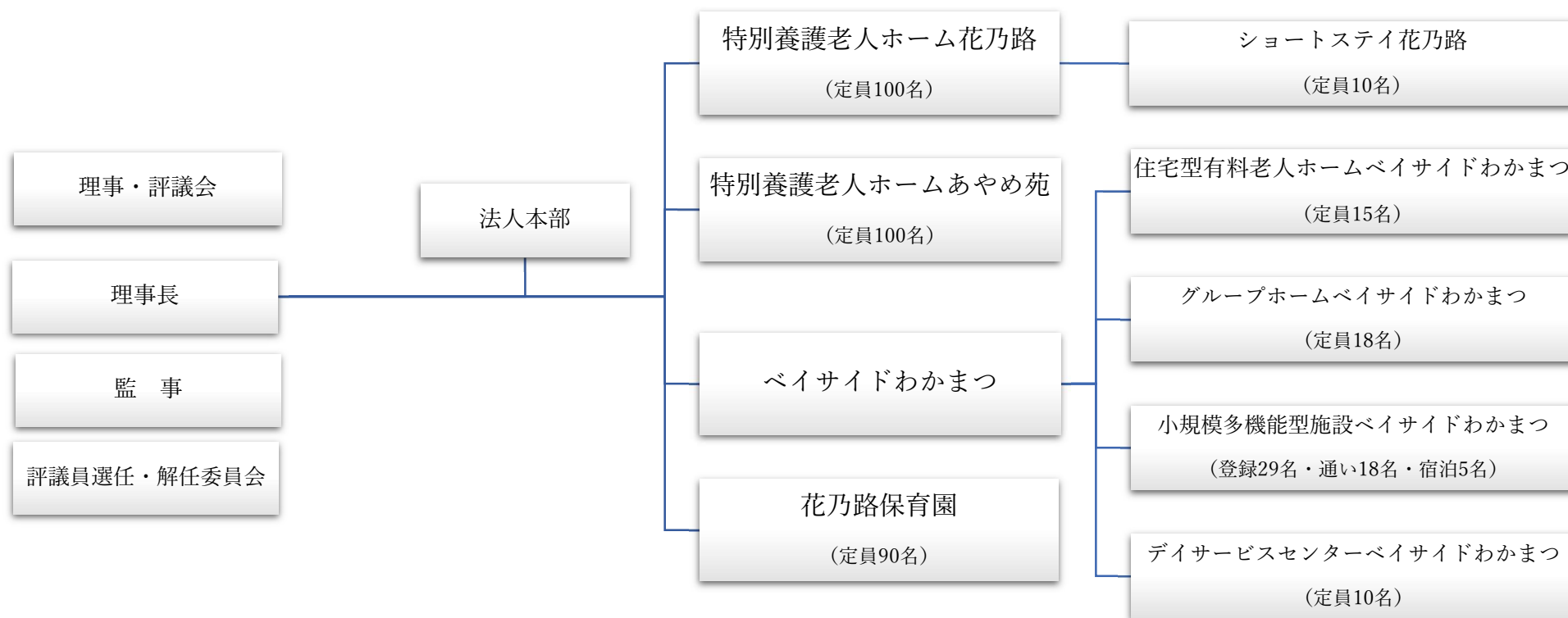
社会福祉法人希耀會
理事長 福永 幸子

私たちの理念

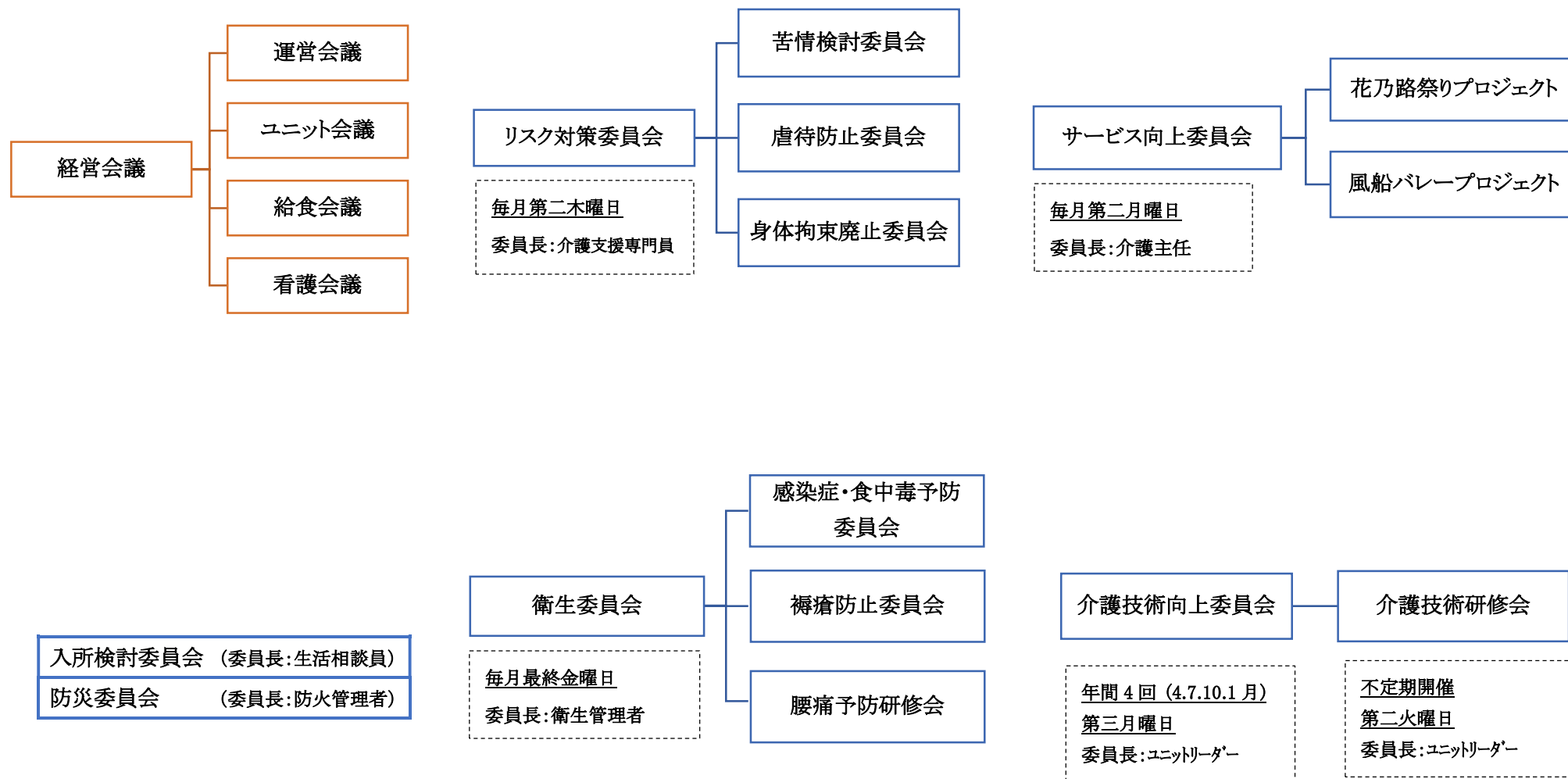
- 
- ✿ 利用者の自律した暮らしを支援します。
 - ✿ 知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します。
 - ✿ 健全経営を行い、地域福祉の拠点を目指します。

法人機構図

令和2年3月1日現在



特別養護老人ホーム花乃路 （会議・委員会活動）



特別養護老人ホーム花乃路 (年間業務計画)

2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	水 入職式	1 金	1 月	1 水	1 土	1 火 褥瘡防止委員会	1 木 運営会議 看介護連携会議	1 日	1 火 戸畑高等技術実習 褥瘡防止委員会	1 金	1 月	1 月
2	木 運営会議 看介護連携会議	2 土	2 火 褥瘡防止委員会	2 木 運営会議 看介護連携会議	2 日	2 水	2 金 理事会	2 月	2 水	2 土	2 火 感染症・食中毒 予防委員会	2 火 褥瘡防止委員会
3	金	3 日	3 水	3 金	3 月	3 木 運営会議 看介護連携会議	3 土	3 火 感染症・食中毒 予防委員会	3 木 運営会議 看介護連携会議	3 日	3 水	3 水
4	土	4 月	4 木 運営会議・防災訓練 看介護連携会議	4 土	4 火 感染症・食中毒 予防委員会	4 金 苦情検討委員会	4 日	4 水	4 金	4 月	4 木 運営会議 看介護連携会議	4 木 運営会議 看介護連携会議
5	日	5 火 感染症・食中毒 予防委員会	5 金	5 日	5 水	5 土	5 月	5 木 運営会議・夜間防災 看介護連携会議	5 土	5 火	5 金 苦情検討委員会	5 金 苦情検討委員会
6	月	6 水	6 土	6 月	6 木 運営会議 看介護連携会議	6 日	6 火	6 金	6 日	6 水	6 土	6 土
7	火	7 木 運営会議 看介護連携会議	7 日 風船バレー大会	7 火 戸畑高等技術 専門校実習	7 金	7 月	7 水	7 土	7 月	7 木 運営会議 看介護連携会議	7 日	7 日
8	水	8 金 習字クラブ	8 月 サービス向上委員会	8 水	8 土	8 火	8 木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	8 日	8 火 戸畑高等技術 専門校実習	8 金 習字クラブ	8 月 サービス向上委員会	8 月 サービス向上委員会
9	木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	9 土	9 火	9 木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	9 日	9 水	9 金 習字クラブ	9 月 サービス向上委員会	9 水	9 土	9 火	9 火
10	金 習字クラブ	10 日	10 水	10 金 習字クラブ	10 月 サービス向上委員会	10 木 リスク対策委員会	10 土	10 火	10 木 リスク対策委員会	10 日	10 水	10 水
11	土	11 月 サービス向上委員会	11 木 リスク対策委員会	11 土	11 火	11 金 習字クラブ	11 日	11 水	11 金 習字クラブ	11 月 サービス向上委員会	11 木 リスク対策委員会	11 木 リスク対策委員会
12	日	12 火	12 金 習字クラブ	12 日	12 水	12 土	12 月 サービス向上委員会	12 木 リスク対策委員会	12 土	12 火	12 金 習字クラブ	12 金 習字クラブ
13	月 サービス向上委員会	13 水	13 土	13 月 サービス向上委員会	13 木 リスク対策委員会	13 日	13 火	13 金 習字クラブ	13 日	13 水	13 土	13 土 理事会
14	火	14 木 リスク対策委員会	14 日	14 火 戸畑高等技術 専門校実習	14 金 習字クラブ	14 月 サービス向上委員会	14 水	14 土	14 月 サービス向上委員会	14 木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	14 日	14 日
15	水 常務会	15 金 理事会・体操ク 介護リダ・ミーティング	15 月	15 水 常務会	15 土	15 火 給食会議	15 木	15 日	15 火 給食会議	15 金 獅子舞訪問	15 月	15 月
16	木	16 土	16 火 給食会議	16 木	16 日	16 水 常務会	16 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	16 月 入所検討委員会	16 水 常務会	16 土	16 火 給食会議	16 火 給食会議
17	金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	17 日	17 水 常務会	17 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	17 月	17 木	17 土	17 火 給食会議	17 木	17 日	17 水 常務会	17 水 常務会
18	土	18 月 入所検討委員会	18 木	18 土	18 火 給食会議	18 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	18 日 花乃路祭り	18 水 常務会	18 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	18 月	18 木	18 木
19	日	19 火 給食会議	19 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	19 日	19 水 常務会	19 土	19 月	19 木	19 土	19 火 給食会議	19 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	19 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング
20	月	20 水 常務会	20 土	20 月	20 木	20 日	20 火 給食会議	20 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	20 日	20 水 常務会	20 土	20 土
21	火 給食会議	21 木	21 日	21 火 給食会議	21 金 体操クラブ 介護リダ・ミーティング	21 月	21 水 常務会	21 土	21 月 感染症・食中毒 研修	21 木	21 日	21 日
22	水 看護会議	22 金 音楽クラブ	22 月 感染症・食中毒 研修	22 水 看護会議	22 土	22 火	22 木	22 日	22 火	22 金 音楽クラブ 介護リダ・ミーティング	22 月 身体拘束・虐待 予防研修	22 月 認知症ケア研修
23	木	23 土	23 火	23 木	23 日	23 水 看護会議	23 金 音楽クラブ	23 月	23 水 看護会議	23 土	23 火	23 火
24	金 音楽クラブ 経営会議・衛生	24 日	24 水 看護会議	24 金 音楽クラブ	24 月 身体拘束・虐待 予防研修	24 木	24 土 評議員会	24 火	24 木	24 日	24 水 看護会議	24 水 看護会議
25	土	25 月	25 木	25 土	25 火	25 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	25 日	25 水 看護会議	25 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	25 月 リスクマネジメント研修	25 木	25 木
26	日	26 火	26 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	26 日	26 水 看護会議	26 土	26 月 褥瘡予防研修	26 木 摂食・嚥下障害 研修	26 土	26 火	26 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	26 金 音楽クラブ 経営会議・衛生
27	月 救急蘇生研修	27 水 看護会議	27 土	27 月 リスクマネジメント研修	27 木	27 日	27 火	27 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	27 日	27 水 看護会議	27 土	27 土
28	火	28 木	28 日	28 火	28 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	28 月 人権研修	28 水 看護会議	28 土	28 月 大掃除	28 木	28 日	28 日 評議員会
29	水	29 金 経営会議 衛生委員会	29 月	29 水	29 土	29 火	29 木	29 日	29 火	29 金 経営会議 衛生委員会		29 月
30	木	30 土 評議員会	30 火	30 木	30 日	30 水	30 金 経営会議 衛生委員会	30 月	30 水	30 土		30 火
		31 日		31 金 経営会議 衛生委員会	31 月		31 土		31 木	31 日		31 水

簡易水道検査 新人研修	厨房害虫駆除 厨房機器点検 ワックス掛け		消防機器点検		グリーストラップ清掃	貯水池検査	厨房害虫駆除 厨房機器点検		受水槽清掃	消防機器点検	職員健康診断 グリーストラップ清掃 貯水池検査
----------------	----------------------------	--	--------	--	------------	-------	------------------	--	-------	--------	-------------------------------

※ 栄養ケアマネジメント・ケアプランカンファレンス → 毎月随時開催
※ 電気保守点検・EV点検 → 毎月随時実施

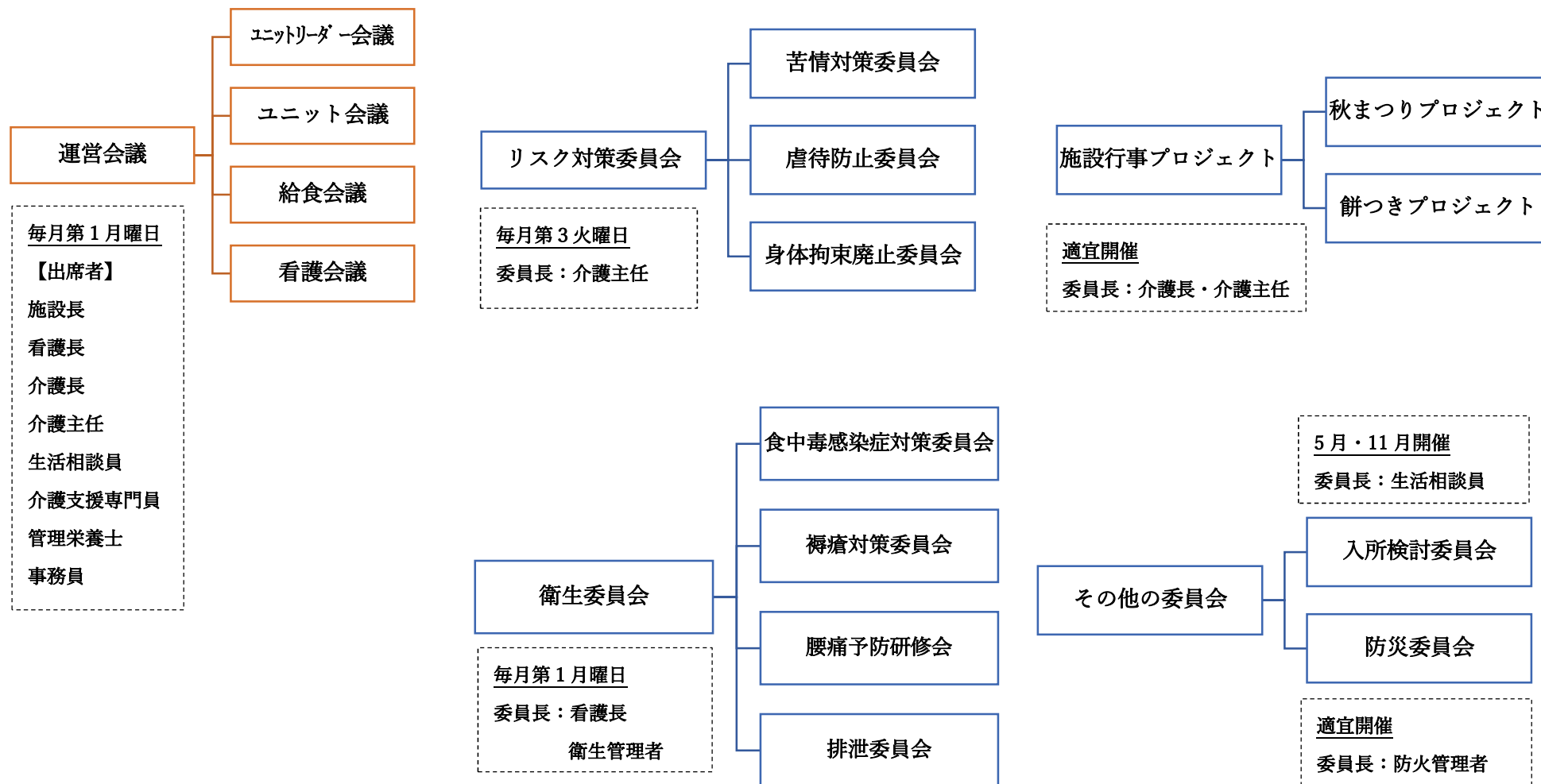
特別養護老人ホーム花乃路 年間業務目標（部門別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
業務指針	・利用者の自律した暮らしを支援するために～ ①心身状態の重度化に伴い複雑化している利用者個々の生活課題に対し、柔軟な姿勢を持って支援を行い、利用者や家族にとっての『暮らしの満足度』が高められるようなサービスの提供に努めます。 ②多くの利用者の方が持たれている認知症疾患に対して、『個人毎の視点や立場に立ち、本人に確認して共に行うケア』を推進するなど、組織全体で認知症対応力の向上に取り組みます。	・知・情・意を兼ね備えた人材を育成するために～ ①職員個人および組織全体の育成体制の向上のために、指導的立場の職員のスキルアップや外部講師を招いての研修体制の整備に努めます。 ・高品質のサービスを提供するために～ ①部署内・部署間における情報の共有と連携の機会を確保し、チームワークバランスの充実を目指すと共に、組織全体における規律意識の維持・向上にもつなげます。	・健全経営を行うために～ ①経営の安定化のため年間平均稼働率 95%の達成を目指します。 ②業務環境の更なる改善に取り組み、魅力ある職場として対外的な発信力を高めながら人材の確保につなげます。 ・地域福祉の拠点となるために～ ①乙丸・花野路両自治会との連携を図りながら、地域貢献につながる公益的な取り組みの検討を行い、その実現に努めます。
介護部門	施設全体で入居者ファーストを最優先に考え、心身両面に寄り添う介護を心掛け、目配り・気配り・心配りを徹底し、家族から信頼して頂けるよう努めます。	多職種で連携を図り、知識と知恵を深め合い、様々な工夫を基に施設での生活が安全・安心に提供できるよう、サービスの向上に努めます。	施設運営が健全に行えているか常に意識し、施設全体での経費節減に協力します。また、地域行事への参加や、施設行事への招待など、地域住民との交流機会を確保し、施設が存在が地域福祉の拠点と認識されるように努めます。
看護部門	入居者の高齢化に伴い、嘱託医及び他職種スタッフ・家族との連携を密に図り、医療的側面から生活支援の充実を目指します	必要とされる観察眼や気配りの意識を養い、充実した健康管理と生活サービスが提供できるように、意識向上に努めます	入居者の重症化を防ぐため、早期発見、早期対応に努めます。又、協力病院及び医療機関との連携を図り、円滑な協力関係を築きます。
相談部門	入居者・利用者の尊厳の保持を基本に、自律支援・生活の質の向上・生活機能の維持に向けた各種取り組みを多職種連携の基に実践し、入居者・利用者の自律した暮らしの実現に向けたサービスを提供致します。	各種知識や相談援助技術の研鑽に励み、専門性の向上を目指すとともに、多職種間における情報共有を迅速かつ正確に行い協力体制を整えることにより、入居者・利用者・家族に対して真心を込めたサービスが提供できるように取り組んで参ります。	他施設、関係機関との連携、周知を積極的に行い、待機者、利用者の確保と円滑な入居による稼働率の向上を図ります。また、施設と地域を結びつける役割として、共助の姿勢を持って、地域福祉に寄与します。
栄養部門	各個人の疾患や嗜好、栄養状態に合わせた食事の提供を行い、より良い食環境の中で生活できるようサポートします。	研修等に参加し専門的知識を深め、内部研修や会議を通して情報を共有します。多職種で連携し、栄養ケアマネジメントの充実を図ります。	栄養ケアマネジメント加算、療養食加算に伴う業務的的確に行います。また、行事等、家族や地域の方との交流の場を大切にします。
事務部門	入居者及びご家族への挨拶を積極的に行い、来設者に対して即座に対応できるよう努めます。	介護保険事務能力の向上を目指します。窓口業務の挨拶・笑顔を徹底し、丁寧な対応を心がけます。	安定した収入が得られるよう取得出来る加算は積極的に算定し書類等不備のないよう収入アップに努めます。
ショートステイ（やまぶき）	自宅での環境に近づけ、安心、安全に過ごせるように努めます。	職員間での情報を共有し、職員同士が良好に働けるよう取り組みます。	利用者・家族とコミュニケーションを取り、信頼関係を築きます。

特別養護老人ホーム花乃路 年間業務目標（ユニット別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
牡丹通り	入居者が自己決定出来るような声掛けを行い、安心して生活出来る環境作りに努めます。	職員間の情報交換を常に行い、互いに成長できるように助け合いながら自己研鑽やサービス向上に努めます。	コストカットへの意識を高めながらも、入居者・家族から信頼されるケアを実践致します。
百合通り	入居者の方に寄り添ったケアを行い、スピーチロックにならないような声掛けを行います。	日々入居者の体調に合わせながら、介助方法を見直し介護技術の向上を目指します。	空調コントロールなど節電を心掛け、コストダウンに努めます。また、家族とのコミュニケーションを取り信頼関係を築けるように努めます。
向日葵通り	入居者一人ひとりのペースに合わせ、安心、安全に暮らせるよう支援します。	職員間で情報共有をしっかりと行い、より良いケアの実践とサービスを提供します。	入居者・家族ともに安心して頂けるような、サービス提供を行い、信頼関係を築きます。
桔梗通り	入居者一人ひとりに合ったケアを行い、安心・安全に過ごせるよう支援します。	職員同士で細目に情報交換を行い、入居者へのケアの質の向上に努めます。	職員一人ひとりが、家族とのコミュニケーションを取り、信頼関係を築けるよう努めます。
朝顔の丘	日頃から入居者の安心・安全な暮らしを支援していきます。	ブロック内での情報共有を密に行い、ブロックのスタッフ全体でより良いサービスが提供できるように努めます。	安心できるケアの実践に努め、入居者や家族との信頼関係を築くことを目指します。
秋桜の丘	日々の声掛けやコミュニケーションの機会を大切にします。また、入居者との信頼関係を築き、それぞれに合った生活サポートを行います。	多職種間で連携を図り、情報を共有します。また、常に学ぶ姿勢を持ち、他者の意見に耳を傾けます。	家族との会話を大切にし、信頼関係を築きます。また、各種備品を大切に扱います。
紫陽花の丘	入居者が心身ともに安定される環境整備を行い、暮らしやすいケアを目指します。	入居者、職員間でコミュニケーションを図りながら、楽しく過ごせるように努めます。	家族より「ここがよかった」と言われるようなケアを行っていきます。経費削減が出来る様に、職員間での意見・声掛けにも努めます。（オムツの検討節電）個別レクを重視し、家族との交流機会の確保にも努めます。
水仙の丘	入居者の方の生活を大切に、望まれる生活に近づけて行ける様に支援します。また、残存機能を活かしたケアを行っていきます。	職員間での意見や情報を共有し、多職種での情報交換、連携を取り、入居者の方に寄り添ったケアを提供できるように努めていきます。	家族との信頼関係を築けるように努めます。また、コストの削減を心掛け、備品を大切にします。必要ない電気は消し、節電に努めます。
さくら広場	入居者一人ひとりとしっかり向き合い、その方のニーズを把握して一つでも多くの要望に添えるよう全力で努めて参ります。	入居者主体のサービスが提供できるよう、全スタッフの信頼関係をより強固なものにし、日々変わる入居者の状態や環境にも迅速に対応できるスムーズな連携体制の確保に努めて参ります。	オムツ・エアコン・水道などを細目に管理し、一つひとつの無駄を無くします。又引き続きご家族が、足を運びやすい環境を作り、活気あるユニットとなるよう努めて参ります。
ふじ広場	入居者一人ひとりの生活に寄り添い、職員間の情報共有と日々の状態把握に努め、統一したケアを徹底し、安心して生活できるように支援します。	エンablerを中心に、職員間で意見や情報交換を行い、連携を密にしながらより良いサービスの提供に努めます。	都度、入居者に合った福祉用具や生活備品の見直しを行います。また、空調の調整・節電を心掛けます。

特別養護老人ホームあやめ苑 (会議・委員会活動)



特別養護老人ホームあやめ苑 (年間業務計画)

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水		1	金	書道クラブ	1	月	運営会議 衛生委員会	1	水		1	土		1	火	セブシルブン	1	木		1	日		1	火	セブシルブン	1	金		1	月	運営会議 衛生委員会	1	月	運営会議 衛生委員会
2	木		2	土		2	火	セブシルブン	2	木		2	日		2	水		2	金	書道クラブ 定時理事会	2	月	運営会議 衛生委員会	2	水		2	土		2	火	セブシルブン	2	火	セブシルブン
3	金	書道クラブ	3	日		3	水		3	金	書道クラブ	3	月	運営会議 衛生委員会	3	木		3	土		3	火	セブシルブン	3	木		3	日		3	水		3	水	
4	土		4	月		4	木		4	土		4	火	セブシルブン	4	金	書道クラブ	4	日		4	水		4	金	書道クラブ	4	月	運営会議 衛生委員会	4	木		4	木	
5	日		5	火	セブシルブン	5	金	書道クラブ	5	日		5	水		5	土		5	月	運営会議 衛生委員会	5	木		5	土		5	火	セブシルブン	5	金	書道クラブ	5	金	書道クラブ
6	月	運営会議 衛生委員会	6	水		6	土		6	月	運営会議 衛生委員会	6	木		6	日		6	火	セブシルブン	6	金	書道クラブ	6	日		6	水		6	土		6	土	
7	火	セブシルブン	7	木		7	日		7	火	セブシルブン	7	金	書道クラブ	7	月	運営会議 衛生委員会	7	水		7	土		7	月	運営会議 衛生委員会	7	木		7	日		7	日	
8	水	理美容	8	金		8	月	UL会議 給食会議	8	水	理美容	8	土		8	火	音楽クラブ (伊藤先生)	8	木		8	日		8	火	音楽クラブ (伊藤先生)	8	金	書道クラブ 褥瘡予防委員会	8	月	UL会議 給食会議	8	月	UL会議 給食会議
9	木		9	土		9	火	音楽クラブ (伊藤先生)	9	木		9	日		9	水	理美容	9	金	褥瘡予防委員会	9	月	UL会議 給食会議	9	水	理美容	9	土		9	火	音楽クラブ (伊藤先生)	9	火	音楽クラブ (伊藤先生)
10	金	褥瘡予防委員会	10	日		10	水	理美容	10	金	褥瘡予防委員会	10	月	UL会議 給食会議	10	木		10	土		10	火	音楽クラブ (伊藤先生)	10	木		10	日		10	水	理美容	10	水	理美容
11	土		11	月	運営会議 衛生委員会	11	木		11	土		11	火	音楽クラブ (伊藤先生)	11	金		11	日		11	水	理美容	11	金		11	月	UL会議 給食会議	11	木		11	木	
12	日		12	火	音楽クラブ (伊藤先生)	12	金		12	日		12	水	理美容	12	土		12	月	UL会議 給食会議	12	木		12	土		12	火	音楽クラブ (伊藤先生)	12	金		12	金	
13	月	UL会議 給食会議	13	水	理美容	13	土		13	月	UL会議 給食会議	13	木		13	日		13	火	音楽クラブ (伊藤先生)	13	金		13	日		13	水	理美容	13	土		13	土	定時理事会
14	火	音楽クラブ (伊藤先生)	14	木		14	日		14	火	音楽クラブ (伊藤先生)	14	金		14	月	UL会議 給食会議	14	水	理美容	14	土		14	月	UL会議 給食会議	14	木		14	日		14	日	
15	水		15	金	書道クラブ 定時理事会	15	月		15	水		15	土		15	火	セブシルブン リスク管理委員会	15	木	排泄委員会	15	日		15	火	セブシルブン リスク管理委員会	15	金		15	月	食中毒感染症対 策委員会	15	月	
16	木	排泄委員会	16	土		16	火	セブシルブン リスク管理委員会	16	木	排泄委員会	16	日		16	水	常務会	16	金	書道クラブ	16	月	食中毒感染症対 策委員会	16	水	常務会	16	土		16	火	セブシルブン リスク管理委員会	16	火	セブシルブン リスク管理委員会
17	金	書道クラブ	17	日		17	水	常務会	17	金	書道クラブ	17	月	食中毒感染症対 策委員会	17	木	排泄委員会	17	土		17	火	セブシルブン リスク管理委員会	17	木	排泄委員会	17	日		17	水	常務会	17	水	常務会
18	土		18	月	UL会議 給食会議	18	木	排泄委員会	18	土		18	火	セブシルブン リスク管理委員会	18	金	書道クラブ	18	日		18	水	常務会	18	金	書道クラブ	18	月		18	木	排泄委員会	18	木	排泄委員会
19	日		19	火	セブシルブン リスク管理委員会	19	金	書道クラブ	19	日		19	水	常務会	19	土		19	月	秋祭り(仮)	19	木	排泄委員会	19	土		19	火	セブシルブン リスク管理委員会	19	金	書道クラブ	19	金	書道クラブ
20	月		20	水	常務会	20	土		20	月		20	木	排泄委員会	20	日		20	火		20	金	書道クラブ	20	日		20	水	常務会	20	土		20	土	
21	火	セブシルブン リスク管理委員会	21	木	排泄委員会	21	日		21	火	セブシルブン リスク管理委員会	21	金	書道クラブ	21	月		21	水	常務会	21	土		21	月	餅つき(仮)	21	木	排泄委員会	21	日		21	日	
22	水	常務会 理美容	22	金	入所検討委員会	22	月		22	水	常務会 理美容	22	土		22	火		22	木		22	日		22	火		22	金	書道クラブ	22	月		22	月	苦情検討委員会
23	木		23	土		23	火		23	木		23	日		23	水	理美容	23	金		23	月		23	水	理美容	23	土		23	火		23	火	
24	金	看護会議	24	日		24	水	理美容	24	金		24	月		24	木		24	土	定時評議員会	24	火	入所検討委員会	24	木		24	日		24	水	理美容	24	水	理美容
25	土		25	月	食中毒感染症対 策委員会	25	木		25	土		25	火		25	金	看護会議	25	日		25	水	理美容	25	金	看護会議	25	月	防災委員会	25	木		25	木	
26	日		26	火	職員互助会総会	26	金	看護会議	26	日		26	水	理美容	26	土		26	月	防災委員会	26	木		26	土		26	火		26	金	看護会議	26	金	看護会議
27	月	防災委員会	27	水	理美容	27	土		27	月	防災委員会	27	木		27	日		27	火	セブシルブン リスク管理委員会	27	金	看護会議	27	日		27	水	理美容	27	土		27	土	
28	火	救急救命講習	28	木		28	日		28	火	苦情検討委員会	28	金	看護会議	28	月		28	水	理美容	28	土		28	月	大掃除	28	木		28	日		28	日	定時評議員会
29	水		29	金	看護会議	29	月		29	水		29	土		29	火	身体拘束廃止委 員会	29	木		29	日		29	火	身体拘束廃止委 員会	29	金	看護会議				29	月	
30	木		30	土	定時評議員会	30	火	身体拘束廃止委 員会	30	木		30	日		30	水		30	金	看護会議	30	月		30	水		30	土					30	火	身体拘束廃止委 員会
			31	日					31	金	看護会議	31	月					31	土					31	木		31	日					31	水	
その他予定			防災訓練、害虫駆除			エアコンフィルター清掃			長谷川式調査 グリスラップ清掃			防災訓練(夜間) 水質検査・貯水槽清掃						秋祭り・夜勤者検診			防災訓練(総合) 害虫駆除			入居者検診 忘年会(互助会)			グリスラップ清掃			防災訓練(風水害)			健康診断(職員)		

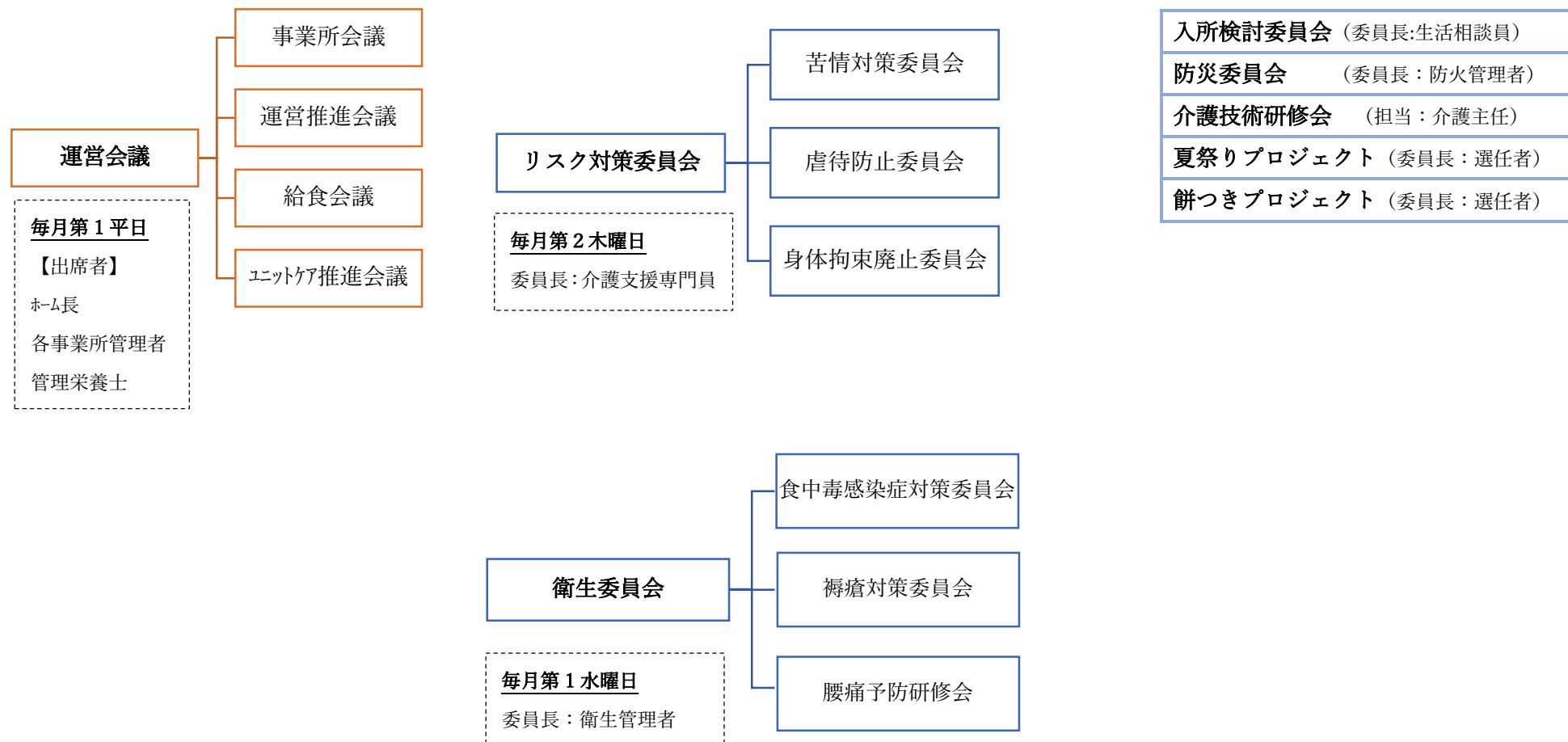
特別養護老人ホームあやめ苑 年間業務計画（部門別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
業務指針	業務中心ではなく、ご入居者と向き合う事を大切にします - 各職員がご入居者と向き合う時間を意識的に作るよう日々の業務改善に努めます。 ご入居者の施設生活をより充実したものとします - ユニットでのイベントを活性化します。活性化のために必要な事は施設全体でバックアップします。	積極的な内・外部研修を行います - 昨年度を上回る内・外部研修を計画、実行します。研修後にアウトプットできる機会を定期的に設けます。 - 介護長、主任推薦を基とし、ユニットリーダー研修に1名の受講を計画します。 - 福祉の業種に留まらず、職員の人間力にフォーカスするような幅広い研修を計画します。	管理職員は施設収支に対する意識を高め、稼働率向上のみならず、経費削減についても積極的に取り組めるチーム作りを行います - 運営会議を活用し、稼働率の検証及び経費の使用について協議します。 90床の稼働を上半期に実行します。 - 西14区自治会への協力を引き続き実行していきます。
介護部門	暮らしの拘り・その人らしい時間を見つめたケアの構築 - お看取りまでの視点で細やかなケアの提供とご家族様も含めた手厚いサポート - お客様の視点にたった考察を重視したケア構築の徹底	多様性に応じた育成システムでの対応力強化 - 基本と応用の土壌をしっかりと形づくる - 人間力の向上でCS向上を図る	ディーセントワークを目指し、社会資源としての存在意義に根差した運営 - 多様な視点からの改善で相互理解のもとチーム力・ケア提案力の向上を目指す。コスト面の適正化を図る - 地域との共生と新たな展開への積極的な働きかけ
看護部門	ご入居者が安心して生活ができるよう関係機関や嘱託医、ご家族と連携を図ります。	介護職員に対し、基本的な医療知識を養う目的として定期的な医療研修を実施します。スタッフ全員のスキル向上を目指し積極的に研修へ参加します。	職員、ご入居者に対し異常の早期発見、早期対応に努めます。協力病院、医療機関との連携を図り円滑な相互関係を築きます
相談部門	ご入居者・ご家族のご意向に沿った支援を行う - 現場にも足を運びながらご入居者の支援を現場と連携して実施していく。 - 日々の報告やカンファレンス等を実施し、ご入居者はもちろん、ご家族のご意向を尊重しながらサービスの充実を図る。 - 他職種が連携して安心して過ごしていただけるために、報告、連絡、相談を密にしていく。	誰からも頼られる存在になる - 些細な事に耳を傾けスムーズに対応できるよう現場へのラウンドやケアの支援を行う。 - 節度ある言葉遣いで尊厳の気持ちをもち接する。 - 来苑される方々が気持ちよく過ごしていただけるような環境整備や接遇に関して意識し場合によっては助言、介入する。	地域に根差した施設を目指し同時に地域に貢献できるようにしていく 90床満床を目標に徐々に100床へ繋げていけるように日頃から地域の自治会や町内会・病院その他事業所等へも赴き求めがある場合は連携する。
栄養部門	食事摂取量等の定期的な評価から、ご入居者の健康を管理する（委託業者） おいしく食べやすい食事形態で提供する。	行事等の連絡を含め委託業者と連絡をしっかりととり、連絡事項に漏れがないようにする。厨房内の清潔を保つ。（委託業者） 一人ひとりが衛生管理をしっかりし、安全でおいしい食事提供に努める。	栄養剤や栄養補助食品の見直しを行う。（委託業者） あやめ苑で行われている行事などに積極的に参加する。
事務部門	入居者様と積極的にコミュニケーションをとり、他部署との連携を図ります。	責任感をもって一つひとつの仕事に取り組み、業務のレベルアップを目指します。周りに気を配り、直ぐに行動します。	施設収支を意識し、健全経営を側面から支援します。施設に往来される地域住民の方に対し積極的な声かけを心がけます。

特別養護老人ホームあやめ苑 年間業務計画（ユニット別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
桜桃	入居者様お一人ずつの個性を汲み取った入居者様視点での支援とは何かを極める。	チーム内での協議を常に行い迅速な情報の共有と連携でサービスの実現を目指す為に研修参加などのアウトプットを確実に実行化する。	コスト意識を持ちつつユーザー満足度の向上を図る。各自に求められるものは何かの振り返りを各自・チームで常に行っていく。
櫻	個々のリズムに沿った 24hシートの作成での快適な暮らしづくり。	研修参加・資格取得の推進とサポートで個別スキルアップとケアへの反映。	ケアの質の向上を図りながらのコスト改善
紅葉	日々の快適な暮らし ・過ごし易さへ拘ったご提案 ・人も含めた環境の整備を徹底していく	介護技術・接遇の向上 ・研修参加や委員会活動を通じた知識・技術の習得とその活用	コストの見直し・改善の強化 地域参加の推進 ・様々なコストへ全員での意識づけと改善 ・発信力を持ち積極的な参加で交流を深める
楓	日々の快適な暮らし ・過ごし易さへ拘ったご提案 ・人も含めた環境の整備を徹底していく	介護技術・接遇の向上 ・研修参加や委員会活動を通じた知識・技術の習得とその活用	コストの見直し・改善の強化 地域参加の推進 ・様々なコストへ全員での意識づけと改善 ・発信力を持ち積極的な参加で交流を深める
銀杏	その人らしさに拘ったケアの提供と共存 ・相手の立場に立った視点での支援	個を共感理解した上の共存 チーム力の向上 ・全てを個別＝個性として捉えつつ活かし活かされていく	CS 向上に必要なコスト・不要なコストの見極めを図る ・コミュニケーションの強化で情報共有のスピード化を図り、実践への反映 ・地域への積極的な提案での相互参加を目指す
杏	ご入居者様お一人ずつに沿ったケアの提供とサービス満足度の充実を図る。	人材育成の中から共助の姿勢を持ち品質の良いサービス提供を実践していく。	細かなコスト確認で削減箇所の見出し改善を図る
若葉	[5F 共通] アクティビティの推進で日々の暮らしにうおいを作る ユニットケアへの理解を深め意識改革を図る	積極的な研修参加 介護技術の向上とチーム内勉強会などの推進	ユニット間協力の継続で負担軽減と経費削減を図る 報告経路の遵守でチーム内理解を統一していく
翠	[5F 共通] アクティビティの推進で日々の暮らしにうおいを作る ユニットケアへの理解を深め意識改革を図る	積極的な研修参加 介護技術の向上とチーム内勉強会などの推進	ユニット間協力の継続で負担軽減と経費削減を図る 報告経路の遵守でチーム内理解を統一していく
大空	24hシートの必要性を再認識できる指導の推進でケアの改善向上を目指す ・細かな見直しでの更新実施 ・接遇の見直し改善でケアの向上	技術力向上と情報共有の強化	ユニット間協力で残業の減少に努める お客様とのコミュニケーションを重視し信頼関係構築を図る
葵	24hシートの必要性を再認識できる指導の推進でケアの改善向上を目指す ・細かな見直しでの更新実施 ・接遇の見直し改善でケアの向上	技術力向上と情報共有の強化	ユニット間協力で残業の減少に努める お客様とのコミュニケーションを重視し信頼関係構築を図る

ベイサイドわかまつ (会議・委員会活動)



ベイサイドわかまつ (年間業務計画)

R2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	水 入職式	1 金 運営会議	1 月 運営会議	1 水 運営会議	1 土	1 火 運営会議	1 木 運営会議	1 日	1 火 運営会議	1 金 新年会	1 月 運営会議	1 月 運営会議
2	木 運営会議	2 土	2 火 体操クラブ	2 木	2 日	2 水 衛生委員会	2 金 秋祭り	2 月 運営会議	2 水 衛生委員会	2 土	2 火 体操クラブ	2 火 体操クラブ
3	金	3 日	3 水 衛生委員会	3 金	3 月 運営会議	3 木 体操クラブ	3 土 //	3 火 体操クラブ	3 木 体操クラブ	3 日	3 水 衛生委員会	3 水 衛生委員会
4	土	4 月	4 木	4 土	4 火 体操クラブ	4 金 運営会議	4 日	4 水 衛生委員会	4 金	4 月 運営会議	4 木	4 木
5	日	5 火 体操クラブ	5 金	5 日 流しそうめん	5 水 衛生委員会	5 土	5 月	5 木	5 土	5 火 体操クラブ	5 金	5 金
6	月 接遇研修	6 水 衛生委員会	6 土	6 月	6 木	6 日	6 火 体操クラブ	6 金	6 日 町内餅つき	6 水 衛生委員会	6 土	6 土
7	火 体操クラブ	7 木	7 日	7 火 体操クラブ	7 金	7 月	7 水 衛生委員会	7 土	7 月	7 木	7 日	7 日
8	水 衛生委員会	8 金	8 月 歌の教室	8 水 衛生委員会	8 土	8 火	8 木 リスク対策委員会	8 日	8 火	8 金	8 月 歌の教室	8 月 歌の教室
9	木	9 土	9 火	9 木 リスク対策委員会	9 日	9 水	9 金	9 月 歌の教室	9 水	9 土	9 火	9 火
10	金	10 日	10 水	10 金	10 月 歌の教室	10 木 リスク対策委員会	10 土	10 火	10 木 リスク対策委員会	10 日	10 水	10 水
11	土	11 月 歌の教室	11 木 リスク対策委員会	11 土	11 火	11 金	11 日	11 水 リスク対策委員会	11 金	11 月 歌の教室	11 木 リスク対策委員会	11 木 リスク対策委員会
12	日	12 火	12 金	12 日	12 水	12 土 敬老会	12 月 歌の教室	12 木	12 土	12 火	12 金	12 金
13	月 歌の教室	13 水	13 土	13 月 歌の教室	13 木 リスク対策委員会	13 日	13 火	13 金	13 日	13 水	13 土	13 土
14	火	14 木 リスク対策委員会	14 日	14 火	14 金	14 月 歌の教室	14 水	14 土	14 月 歌の教室	14 木 リスク対策委員会	14 日	14 日
15	水 常務会	15 金	15 月	15 水 常務会	15 土	15 火 身体拘束防止委員会	15 木	15 日	15 火 身体拘束防止委員会	15 金	15 月	15 月
16	木 リスク対策委員会	16 土	16 火 身体拘束防止委員会	16 木	16 日	16 水 常務会	16 金 防災避難訓練	16 月	16 水 常務会	16 土	16 火 身体拘束防止委員会	16 火 身体拘束防止委員会
17	金	17 日	17 水 常務会	17 金	17 月	17 木	17 土	17 火 身体拘束防止委員会	17 木	17 日	17 水 常務会	17 水 常務会
18	土	18 月	18 木	18 土	18 火 身体拘束防止委員会	18 金	18 日	18 水 常務会	18 金	18 月	18 木	18 木
19	日 いきいき体操	19 火 身体拘束防止委員会	19 金	19 日	19 水 常務会	19 土	19 月	19 木	19 土 クリスマス会	19 火 身体拘束防止委員会	19 金	19 金
20	月	20 水 常務会	20 土	20 月	20 木	20 日	20 火 身体拘束防止委員会	20 金	20 日	20 水 常務会	20 土	20 土
21	火 身体拘束防止委員会	21 木	21 日	21 火 身体拘束防止委員会	21 金	21 月	21 水 常務会	21 土	21 月	21 木	21 日	21 日
22	水 給食会議	22 金 夜間想定避難訓練	22 月 書道クラブ	22 水 給食会議	22 土	22 火	22 木 サービス向上委員会	22 日	22 火	22 金	22 月 書道クラブ	22 月 書道クラブ
23	木	23 土	23 火 いきいき体操	23 木 サービス向上委員会	23 日	23 水	23 金 いきいき体操	23 月 書道クラブ	23 水	23 土	23 火 いきいき体操	23 火 職員健康診断
24	金 認知症研修	24 日	24 水	24 金	24 月 書道クラブ	24 木 サービス向上委員会	24 土	24 火 いきいき体操	24 木 サービス向上委員会	24 日	24 水	24 水 //
25	土	25 月 書道クラブ	25 木 サービス向上委員会	25 土 地域交流会	25 火 いきいき体操	25 金	25 日	25 水 運営推進会議	25 金 認知症研修	25 月 書道クラブ	25 木 サービス向上委員会	25 木 サービス向上委員会
26	日	26 火 いきいき体操	26 金 認知症研修	26 日	26 水	26 土 地域交流会	26 月 書道クラブ	26 木 サービス向上委員会	26 土 大掃除	26 火 給食会議	26 金 認知症研修	26 金 いきいき体操
27	月 書道クラブ	27 水 運営推進会議	27 土	27 月 書道クラブ	27 木 サービス向上委員会	27 日	27 火 給食会議	27 金	27 日 //	27 水 運営推進会議	27 土	27 土 地域交流会
28	火 救急救命研修	28 木 サービス向上委員会	28 日	28 火 いきいき体操	28 金 認知症研修	28 月 書道クラブ	28 水 夜勤者健康診断	28 土 地域交流会	28 月 書道クラブ	28 木 サービス向上委員会	28 日	28 日
29	水	29 金	29 月	29 水 運営推進会議	29 土	29 火 いきいき体操	29 木 //	29 日	29 火 いきいき体操	29 金 いきいき体操		29 月
30	木 サービス向上委員会	30 土 地域交流会	30 火	30 木	30 日	30 水 運営推進会議	30 金 認知症研修	30 月	30 水	30 土 地域交流会		30 火
		31 日		31 金	31 月		31 土		31 木	31 日		31 水 運営推進会議
	新人研修 消防機器点検	厨房害虫駆除 厨房機器点検				受水槽清掃 消防機器点検	厨房害虫駆除 厨房機器点検		簡易水道検査			

ベイサイドわかまつ 年間業務計画（部門別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
業務指針	・利用者様お一人おひとりのこれまでの生活・歴史を大切にし、住み慣れた土地で安心し、穏やかな生活が送れるようサポートします。 ・地域密着型の施設として、地域との関係性を重視し、利用者様が地域社会の一員として参加できる機会を多く持つようにします。（地域の行事等へ積極的に参加します。） ・利用者様との関係を大切に「気づき」「心配り」「寄り添う気持ち」を常に持ち個別ケアの実践を目指します。	・「福祉」の仕事に、やりがいと誇りを持てるよう、職場環境を整備し、人材育成に取り組み、職員がより長く定着するよう努めます。 ・良質で安心できるサービスを提供するために、各職員が意識を高く持ち、常に自己啓発に励めるようサポートします。 ・職員のキャリアアップのため、各種研修に積極的に参加してもらうとともに、資格取得時には組織全体でバックアップします。 ・決して職員都合の業務は行いません。ご利用者様主体、時代にマッチしたケアを行います。	・より安定した財務基盤、正確な財務管理、会計処理を行います。 ・運営については、組織内の責任と裁量権の範疇を明確にし、コンプライアンスを順守します。 ・地域福祉の拠点として、地域との関わりを密にするとともに、地域高齢者のお困りごとを気軽に相談できるような社会資源としての役割を果たします。
看護部門	・住み慣れた在宅での日常生活において、ご利用者様ご本人はもとよりご家族様の不安も軽減できるよう、寄り添いながらご相談、アドバイスをを行います。 ・ご利用者様の健康管理、服薬管理に努め、一日一日を安心安全にお過ごし頂けるよう努めます。 ・常に、利用者様に注意し、日常の小さな変化も見逃さないよう細心のケアを行います。	・施設内・外部の研修に積極的に参加し、知識・技術の向上を図り、質の高い看護業務を提供出来るよう努めます。 ・専門知識、経験を活かし、多職種との連携を重要視し、施設全体のスキルアップにも努めます。 ・基礎疾患をお持ちのご利用者様には重篤化を防ぐためにも日頃から状態の管理を行い、小さな変化も見逃さないよう細心の注意を払います。	・ご家族、施設内多職種との情報交換を密にし、ご利用者様の变化や異常を早期発見、適切な処置および対応に努めます。 ・医療機関と連携し、情報の共有を行いご利用者様の健康維持に努めます。 ・地域住民の方々とも関係性を深め、医療に関する相談も気軽にお受けします。
栄養部門	・食事を通して、「生活に楽しみ」を持っていただくとともにご利用者様一人ひとりのADLに応じた「食」のサポートを行います。また、常に、メニュー、素材に関しての情報発信を行い、安心して召し上がっていただけます。 ・行事食など季節感、日本の伝統的な食文化を取り入れたメニュー提供を行い、「食」を楽しめる工夫を凝らします。 ・定期的にアンケートを行い、ご利用者様のご意見やご希望に沿ったメニューの作成、食材の選択を行います。	・専門的知識、経験を活かし、スタッフそれぞれが、その根拠を基にサービス提供に取り組みます。 ・毎月の「給食会議」を通じ、利用者様、職員の意見を参考に食材、メニューなどがマンネリ化することなく常にご利用者様に満足いただけるよう努めます。 ・衛生管理には十分注意し、安全・安心な「食」を提供する！という意識を全職員で共有します。	・地産地消を中心に季節感のある豊富なメニュー、食材を使用し、食事の提供を行います。 ・職員一人ひとりが、食品ロス、光熱費、消耗品等の無駄をなくす！という意識の下、経費削減に取り組みます。 ・地域の行事「そうめん流し」「敬老会」「餅つき大会」等々積極的に参加し地域との交流を図ります。
事務部門	・ご利用者・入居者様、ご家族様への挨拶や応対、案内などを丁寧かつ積極的に行い、接遇・マナーの向上を図ります。 ・ご利用者、ご家族、来設者に季節感を感じて頂けるよう、エントランス、地域交流スペースの設えを工夫します。	・法人内、他施設（花乃路、あやめ苑、花乃路保育園）と連携を図り、情報を共有し、ご利用者様ニーズに迅速に対応します。 ・各事業所間、理事長への報告・連絡・相談を確実にを行い利用者様が安心して生活できるよう体制を整えます。 ・各職種職員が円滑に業務出来るよう、バックヤードとしての役割を果たします。	・新規ご利用者様獲得に向け営業活動を行うとともに、経費節減を徹底し、増収増益を目指します。また、その利益はサービスの充実にあて、ご利用者様に還元します。 ・請求業務は、払戻や過誤、漏れの無いよう細心の注意を払い正確に行います。 ・施設内に何か問題が生じた場合、スピーディに対応し、改善が必要な時は速やかに行います。また、必要に応じて第三者機関等への連絡も正確に行います。

ベイサイドわかまつ 年間業務計画（事業所別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
高齢者グループホーム	・入居者様これまでの生活の歴史を尊重し、一人ひとりの個性や生活リズムに沿った暮らしを支援していきます。 ・常に想像力を働かせ、表現されないニーズを汲み取るとともに、入居者様の意思に沿った生活の支援ができるよう関係性を深め、職員間の綿密な情報交換を行い、ケアプランに反映させます。 ・ご自分の意思で決める「自律」と、残存機能を活性化して、出来ることをより長く続けて頂く「自立」の両面から暮らし支援をしていきます。	・職員一人ひとりが自分にとって大切な人と向き合うように入居者様と向き合い、相互に情報・意見交換を行いケアの質を高めます。常に「入居者様のために」という同じ目的を持ったチームとして一丸となりケアに取り組みます。 ・組織内外の研修に積極的に参加して、自己研鑽に励み職員同士が連携し、日々成長できる環境を整えます。 ・職員一人ひとりが「入居者様の生活の質を高めるために自分自身が成長する」という自覚のもと職務に取り組みます。	・運営推進会議にて、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスにします。 ・社会資源であるグループホームの使命を自覚し、常時 18 名様満床での運営を責務と考えます。 ・介護保険料を収入源とする自覚を持ち、コストパフォーマンスの高い運営を行います。 ・地域との相互交流を通して地元の住民と一緒に発展する方策を行っていきます。
小規模多機能ホーム	・利用者様が、可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るように「通い」を中心とし、短期間の「宿泊」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境、サービス提供に努めます。 ・利用者様のその日の状況に応じて、サービスの変更等を含め、柔軟に対応し、その人らしい暮らしの実現につなげていきます。	・利用者様それぞれの情報を全職員で確実に共有し、ケアの統一を基本により高いサービスを目指します。 ・利用者様との丁寧なコミュニケーションで関係性を深め、職員間においては、それぞれの知識、技術、情報を共有しながら、より質の高いケアに取り組みます。 ・施設内研修や外部研修、連絡会等に積極的に参加し、各自スキルアップに努め、それを職場に反映します。	・定期的に運営推進会議を行い、提供しているサービス内容、日常活動の様子等を報告し、より地域に開かれた事業所にします。 ・地域の一員として行事等へ参加する機会を多く作り、新たな輪が広がる場所の提供を行います。 ・全職員で高いコスト意識を持ちチーム全体でコストカットに取り組みます。
有料老人ホーム	・利用者様お一人おひとりのこれまでの生活・習慣・歴史を大切に、住み慣れた土地で「生きている喜び」をともに感じ、「希望」あふれる生活が送れるようサポートします。 ・定期的（2ヶ月に1度程度）に会議「入居者様の意見交換会」を開催し、入居者様の意見を吸い上げ、改善すべき点が見つかった場合は速やかに改善します。	・入居者様が快適に且つ安心して生活出来るよう常に「知恵」を絞ります。決してルーチンワークはしません。 ・入居者様の本当のニーズにこたえるべく、自己啓発に努め、「気づき」の基準を高めます。 ・入居者様が出来ることはやって頂き、出来ないことを職員、施設全体でフォローします。	・提供しているサービス内容などを明らかにし透明性を確保します。 ・地域交流に努め、ご利用者様はもちろんのこと職員（運営のお手伝い）も参加機会を多く持ちます。 ・施設を開放し（地域交流スペース）、子供からお年寄りの方まで気軽に立ち寄ることが出来るようイベント開催等の充実を図ります。
デイサービス	・利用者様が可能な限り住み慣れた家で生活出来るよう支援し、日々、充実した実りある生活になるよう、お一人おひとりに寄り添ったケアを実践します。 ・歯科医院・歯科衛生士と連携し、その指導の下、口腔ケアの向上、口腔リハビリの充実を図り肺炎（誤嚥性）の予防に努めます。 ・ケア会議（月一度）を開催し、ご利用者様の状態やケアの改善点等を全職員で共有し、より質の高いサービス提供に繋がります。	・利用者様との信頼関係を大切に、細かい状態の変化に気づけるように、常に意識、考えケアにあたります。 ・職員は、各自、目標を立て施設内の勉強会をはじめ、施設外の研修等にも積極的に参加しスキルアップに努めます。 ・職員同士が協力し、慣れ合いになるのではなく、「利用者様のために」という同じ方向性を持ち、チームワークでケアを行います。	・ご利用者様、そのご家族にサービス内容を丁寧に説明、かつ明らかにし事業内容の透明性を最優先します。 ・定期的に運営推進会議を開催し、提供しているサービス等の報告、精査を行い、ご意見を吸い上げ運営に反映させます。特に改善点等は早急に方策を練ります。 ・地域密着型施設として、地域の方々との交流、あるいは地域行事に積極的に参加する機会を多く作ります

花乃路保育園 (中・長期計画)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設面	- 一人一人の子どもの興味や関心もてる園内外の遊びの環境を工夫する。 - 安心して過ごせる空間で遊びの継続・展開が出来る誘いかけを行う。 - 芝生化の定着に伴い、遊びの幅を広げて、楽しめるように取り組む。 - 園庭の固定遊具の点検と転倒対策の整備を行う。 - 各クラス本棚及び絵本に関する環境整備を行う。	- 養護と教育が一体化した保育の中で、子どもからの欲求を受け止め、保育士等の働きかけを行う。 - 園内外の物的環境を中心に安全管理等不十分な所はないか、全職員で話し合う。 - 発達過程を踏まえ、一人一人の子どもの興味や関心の姿を見のがさず遊具・玩具の充実を図る。 「人権を尊重する保育」がすべての保育環境で整備されているか見直しを行う。 - 調理室の整備(園児数増加に伴い回転釜設置の計画)	- 子ども育ちの視点を意識し、思考力・判断力・表現力・学びに向かう力・人間性などの基礎が培われているかを実践し、振り返る。 「人権保育」につながる絵本を保育士が選び、内容についてそれぞれの思いを話すことで、保育を振り返る。 - よりよい保育環境の提供を心がけ絵本からくり広げられるファンタジーの世界を中心に統一感を持って環境整備を見直す。 - 書類・備品等収納量の増加のため、収納方法の工夫・改善を行う。
人材育成	- 園内研修や園外研修の充実を図り、保育士等の専門性の向上に努める。 - 自己評価による職員の専門性の向上を図る。 - 組織の一員としての役割を明確にし、意識を高める。	「保育計画」の見直しを行い、子どもの育ちを丁寧に受け止め組織的な取り組みを行う。 - 育成すべき資質である主体性、多様性、人間性協力性、学びに向かう力を育むための実践を学び合う。	「心の育ちを育む」エピソード記述研修を継続していき、一人一人の子どもに「安心と安らぎとよりどころ」を与えられる園の雰囲気づくりを高める。 - 生活や遊びのあり方を全職員で振り返り検討する為、園内での公開保育を行う。
安全管理	- 様々なリスクに対応できるよう安全面のマニュアル化を図る。 - 大規模災害時に備え、災害マニュアルの見直しを行い、防災訓練計画や防災設備などの確認をする。 - 備蓄品の充実を図る。 - SIDS防止の、5分間午睡確認表のITC化を図る。	- 施設、設備、遊具、玩具、用具、園庭などを点検し、安全性の確保や機能の保持などに努める。 - 防災設備や日常の非常持ち出し品を年度ごとに点検をする。	- 固定遊具や柱の塗装・錆等安全性の向上に努める。 - 賞味期限の確認と補充を行う。 「防災について」の研修会に参加し職員等に周知する。
地域との関わり	- 子育て支援計画の作成(年間4回) - 若松区役所保健福祉課地域保健係との連携による情報誌「親子で出かけてみませんか」に子育て支援計画を掲載する。 - 見学者の親子や一時保育児の保護者との会話を通して子育てニーズの把握をする。 - 特養「花乃路」との交流計画の作成をする。 特養「花乃路」の担当職員の方との連携を図る。 - 若松みなとまつりに参加する。 「若松あんしんネットワーク」主催の子育て支援の研修に参加し情報の収集を行う。	- 子育て支援計画を見直し、地域の親子により寄り添える遊びの提供を考える。 - 小・中・高生の職場体験やボランティア体験・養成校の実習体験などを積極的に受け入れ将来に向けて地域の子育て力の向上につながる支援を果たしていく。 - 特養「花乃路」と交流担当職員の方と連携をとりながら交流計画の見直し、作成を行う。	- 青葉市民センターの行事「親子ふれあいあそび」の出前遊びを行う。 「四季の親子のふれあい」への参加を地域に掲示する場所の範囲を広げ、親子で参加できる機会を増やせるようにする。

基本方針

子どもの生活リズムを大切にし、健康・安全で、情緒の安定した生活と自己を十分に発揮できる環境を整える。

- (1) 養護と教育を一体的に行い、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- (2) 特別養護老人ホーム及び法人内施設と連携を図り、思いやりや感謝の気持ちを育て、生き生きとした地域づくりを目指す。
- (3) 地域における子育て支援のために、乳幼児等の保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。

保育目標

ゆとりのある充実した経験や活動の中で、心身共に調和のとれた乳幼児の育成に努める。

- (ア) 「健康な心と体」を育む。
- (イ) 「自立心・共同性」を育む。
- (ウ) 「道徳性・規範意識の芽生え」を育む。
- (エ) 「自然との関わり・生命尊重」を育む。
- (オ) 「豊かな感性と表現」を育む。





課題

施設面	・子どもを取り巻く環境を理解し、養護と教育の一体的展開を図る。
人材育成	・マネジメント機能を強化し、キャリアアップを目的とする制度等に合わせて必要な知識や技術を修得する。
安全管理	・施設内外の安全点検に努め、安全対策のために、全職員の共通理解や体制づくりを図る。
地域との関わり	・育児不安を和らげ、虐待防止の役割を担い、保育の専門性を活かした子育て支援を積極的に行う。



花乃路保育園 （令和２年度にむけて行動指針と具体的内容）

理念	行動指針	具体的内容
利用者の自律した暮らしを支援します。	・子どもの最善の利益のために環境を通して、養護と教育を一体的に行い、子どもの育ちを支えます。	・保育目標を達成するため「全体的な計画」をもとに、一人一人の発達が保障されているか、PDCAサイクルで繰り返し見直しを行います。
知・情・意を兼ね備えた人材を育成し 共助の姿勢をもって、高品質のサービスを提供します。	・選ばれる保育園を目指し、質の高い保育を展開するため、保育士等の資質向上及び専門性の向上に努めます。 ・保育に関する相談・助言・行動見本の提示を行い、保育園を利用している保護者に対する子育て支援を行います。	・保育士等が子どもの心を受け止め、応答的なやり取りを重ねながら、子どもの育ちを見通し援助します。 ・保育参観や個人懇談を行い、子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを共感しあうと共に、保護者との相互理解を図ります。

花乃路保育園 (年間業務予定)

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水	入園式・進級式 職員会議	1	金		1	月	リーダー会議	1	水	体操教室	1	土		1	火		1	木	リーダー会議	1	日		1	火	リーダー会議	1	金		1	月	リーダー会議	1	月	リーダー会議
2	木		2	土		2	火		2	木		2	日		2	水	体操教室	2	金		2	月		2	水		2	土		2	火		2	火	
3	金		3	日		3	水	体操教室	3	金		3	月	リーダー会議	3	木	小運動会	3	土	若松みなと祭 五平太太鼓	3	火		3	木		3	日		3	水	豆まき	3	水	誕生会
4	土		4	月		4	木		4	土		4	火		4	金		4	日		4	水		4	金		4	月	リーダー会議	4	木		4	木	
5	日		5	火		5	金		5	日		5	水	体操教室	5	土		5	月	保護者懇談会	5	木		5	土	生活発表会	5	火		5	金		5	金	
6	月	リーダー会議	6	水		6	土	保育参観 職員会議	6	月	プール開き	6	木		6	日		6	火	保護者懇談会	6	金		6	日		6	水	体操教室	6	土	保育参観 職員会議	6	土	
7	火		7	木	リーダー会議	7	日		7	火	七夕交流会 (特養花乃路)	7	金		7	月	リーダー会議	7	水	保護者懇談会	7	土	わらべうた 地域交流	7	月	職員会議	7	木		7	日		7	日	
8	水	体操教室	8	金		8	月		8	水	体操教室	8	土		8	火		8	木	保護者懇談会	8	日		8	火		8	金		8	月		8	月	
9	木		9	土	親子遠足 職員会議	9	火		9	木		9	日		9	水	体操教室	9	金	保護者懇談会	9	月	リーダー会議	9	水	体操教室	9	土		9	火		9	火	お別れバインク
10	金		10	日		10	水	体操教室	10	金		10	月		10	木		10	土		10	火		10	木		10	日		10	水	終了写真撮影	10	水	
11	土		11	月		11	木		11	土		11	火	プール納め	11	金	園内研修	11	日		11	水		11	金		11	月		11	木		11	木	
12	日		12	火		12	金	4・5歳児 歯科検診	12	日		12	水	体操教室	12	土	保護者向け	12	月		12	木		12	土		12	火		12	金		12	金	
13	月		13	水	体操教室	13	土		13	月	リーダー会議	13	木		13	日		13	火		13	金		13	日		13	水	体操教室	13	土		13	土	卒園式 職員会議
14	火		14	木		14	日		14	火		14	金		14	月	食育会議	14	水	園児内科健診	14	土		14	月		14	木		14	日		14	日	
15	水		15	金		15	月	食育会議	15	水		15	土	職員会議	15	火	避難訓練	15	木		15	日		15	火	避難訓練	15	金	園内研修	15	月	食育会議	15	月	食育会議
16	木		16	土		16	火	誕生会	16	木		16	日		16	水	常務会	16	金	園内研修	16	月	食育会議	16	水	常務会	16	土	職員会議	16	火	避難訓練	16	火	避難訓練
17	金	誕生会	17	日		17	水	常務会	17	金	誕生会	17	月	食育会議	17	木	中運動会	17	土	職員会議	17	火	誕生会	17	木		17	日		17	水	常務会	17	水	常務会
18	土		18	月	食育会議	18	木	劇団さんぽ	18	土		18	火	避難訓練	18	金	誕生会	18	日		18	水	常務会	18	金	園内研修	18	月	食育会議	18	木	誕生会	18	木	
19	日		19	火	避難訓練	19	金	園内研修	19	日		19	水	常務会	19	土		19	月	食育会議	19	木		19	土		19	火	誕生会	19	金	園内研修	19	金	園内研修
20	月	食育会議	20	水	常務会	20	土		20	月	食育会議	20	木		20	日		20	火	誕生会	20	金	園内研修	20	日		20	水	常務会	20	土		20	土	
21	火	避難訓練	21	木	誕生会	21	日		21	火	避難訓練	21	金	園内研修	21	月		21	水	常務会	21	土	職員会議	21	月	食育会議	21	木		21	日		21	日	
22	水	体操教室 常務会	22	金	園内研修	22	月		22	水	常務会	22	土	新1年生同窓会	22	火		22	木	おやつ交流会 (特養花乃路)	22	日		22	火		22	金	新春コンサート	22	月		22	月	
23	木		23	土		23	火	避難訓練	23	木		23	日		23	水	体操教室	23	金		23	月		23	水	体操教室	23	土		23	火		23	火	
24	金	園内研修	24	日		24	水	体操教室	24	金		24	月		24	木		24	土		24	火	総合避難訓練	24	木	クリスマス会	24	日		24	水	体操教室	24	水	
25	土		25	月	シルエット劇場	25	木		25	土	水遊び 地域交流	25	火	誕生会	25	金		25	日		25	水		25	金	誕生会	25	月		25	木		25	木	
26	日		26	火		26	金		26	日		26	水	体操教室	26	土	運動会	26	月		26	木		26	土		26	火	避難訓練	26	金		26	金	
27	月		27	水	園内内科健診	27	土		27	月		27	木		27	日		27	火	避難訓練	27	金		27	日		27	水	体操教室	27	土		27	土	
28	火		28	木	おやつ交流会 (特養花乃路)	28	日		28	火		28	金		28	月	職員会議	28	水	体操教室	28	土		28	月		28	木		28	日		28	日	
29	水		29	金	ゴミ0の日活動	29	月		29	水		29	土		29	火		29	木		29	日		29	火		29	金					29	月	
30	木		30	土		30	火		30	木		30	日		30	水		30	金		30	月		30	水		30	土					30	火	終了式
			31	日					31	金	園内研修	31	月					31	土					31	木		31	日					31	水	